

## 令和元年度東区自治協議会委員研修会について

## 【開催概要】

日 時：令和元年7月11日（木）午後1時～2時30分  
 会 場：新潟県立大学 新厚生棟「ぱれっと」2階  
 内 容：県立大学2年生（約150名）とのワークショップ

## 【開催目的】

県立大学生との意見交換を通じて、東区のまちづくりについて考える。

## 【大学生とのワークショップ】

大テーマ：県立大学生が考える東区のまちづくり

小テーマ	班	ファシリテーター	記録（報告書作成）
Aグループ 発災時、地域住民の一員としてどのような行動をとるべきか	A-1	関根 廣志	白井 俊和
	A-2	長谷川 徳昭	後藤 岩奈
	A-3	月岡 道子	野村 綾毅知
	A-4	雪井 美由希	和田 忠義
Bグループ 地域の中で、ボランティアとして一歩を踏み出すためには何が必要か	B-1	吉田 侑延	高橋 まり子
	B-2	山田 久美子	川上 文菜
	B-3	田中 一昭	白井雅子・斎藤裕
	B-4	佐藤 恵子	太田 節子
Cグループ あなたが勤めたい会社はどんなところ？どういうものがあれば新潟に残りたいか	C-1	國兼 忠男	野村修一・佐藤清
	C-2	菊谷 きぬ子	中川 薫
	C-3	木村 早苗	土田 ムツ子
	C-4	大江 謙作	貝津幸子・眞柄貴子

- ・ファシリテーター：テーマに沿って意見交換が効果的に進められるよう、時間配分に注意しながら進行する。
- ・記録（報告書作成）：ワークショップで出た意見を報告書にまとめる。

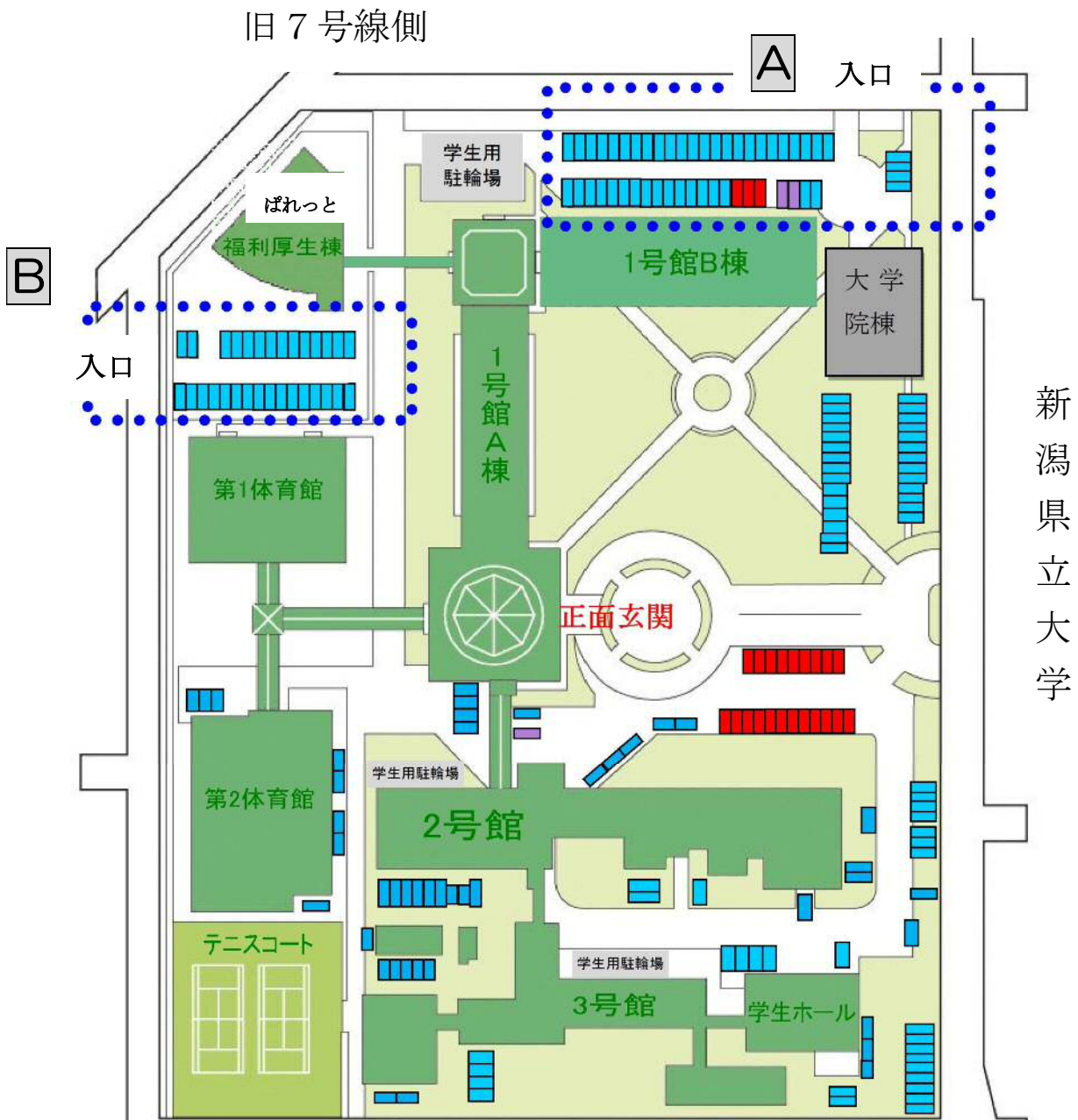
## 【その他】

集合時間：午後0時40分  
 集合場所：新潟県立大学 新厚生棟「ぱれっと」2階  
 交通手段：自家用車または公共交通機関を利用し、現地集合  
 ※県立大学の駐車場は、裏面参照

## 駐車場について

- 第1部会と第2部会の方は、**A**（1号館B棟駐車場）に駐車してください
- 第3部会の方は、**B**（福利厚生棟と第1体育館の間）に駐車してください。

※各10台駐車可能（三角コーンを設置）



## Aグループ

【令和元年度「地域社会論」東区自治協議会とのワークショップテーマ】

### 発災時、地域住民の一員としてどのような行動をとるべきか

#### 現状・課題

2011年の東日本大震災、2016年の熊本地震と大きな地震が続いています。また、近年、日本各地で、大雨や台風に伴う冠水、浸水、土砂崩れも起こっており、いつ新潟市も災害にみまわれるか分かりません。

先日、6月18日の午後10時22分頃、山形県沖を震源とした地震が発生し、村上市では震度6強、新潟市では震度4の揺れを観測しました。災害はいつ起こるのか分かりません。

<参考> 平成30年度のワークショップでの主な意見

テーマ：発災時、学生として「地域の中で」できることは何か？

#### 現状・課題

- 学生と地域の関わりが薄くどう行動すべきか分からない
- 高齢者など避難が困難な人達の情報が不足している
- 学生自身の防災知識がなく、何をすべきか分からない
- 自分の住んでいる地域の避難場所、避難経路が分からない
- 水害（津波等）の避難のタイミングが分からない
- 避難所生活での被災者の心のケアをする必要がある
- 地震に対しての備えがない

#### ワークショップの検討内容

もし、大きな災害が新潟市で起こった場合、地域住民の一員としてどのような行動をとるべきなのでしょう。

# Bグループ

【令和元年度「地域社会論」東区自治協議会とのワークショップテーマ】

地域の中で、ボランティアとして一歩を踏み出すためには何が必要か

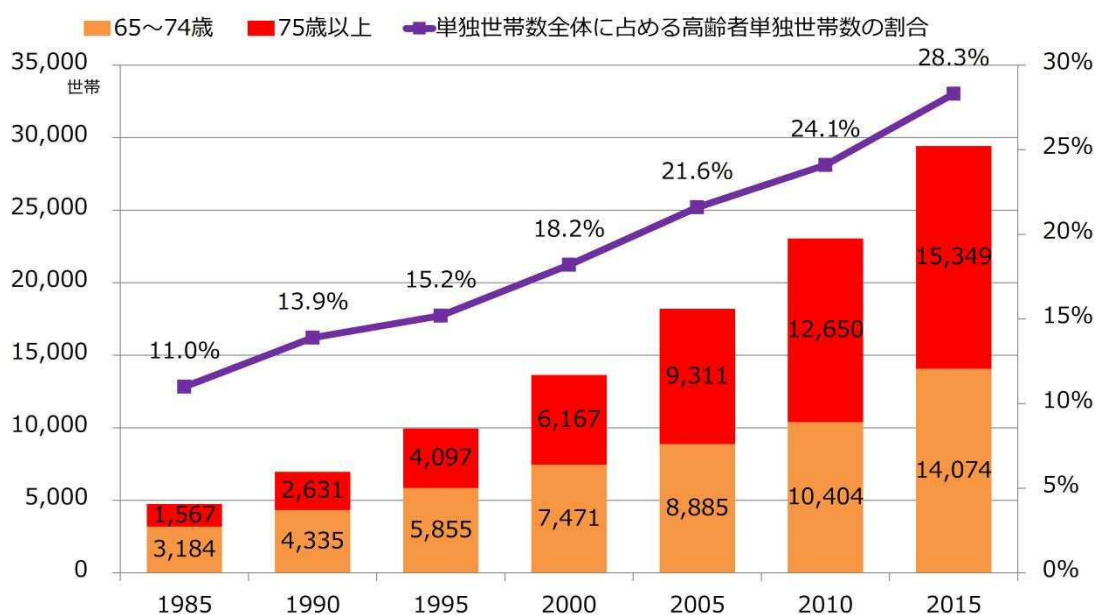
## 新潟市の現状・課題

75歳以上の高齢者の割合が高くなる中、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域における支え合いのしくみづくりが求められています。

東区では、日常の助け合いやお手伝いとして、「草取り」「ゴミ出し」「雪かき」などを地域の中で担っていきこうという機運が高まっています。

しかし、まだこれらの担い手が不足している現状があります。

<参考> 高齢者単独世帯数と割合の推移（新潟市）



出典：国勢調査

## ワークショップの検討内容

地域の中で、ボランティアとして一歩を踏み出すためには何が必要でしょうか。

# Cグループ

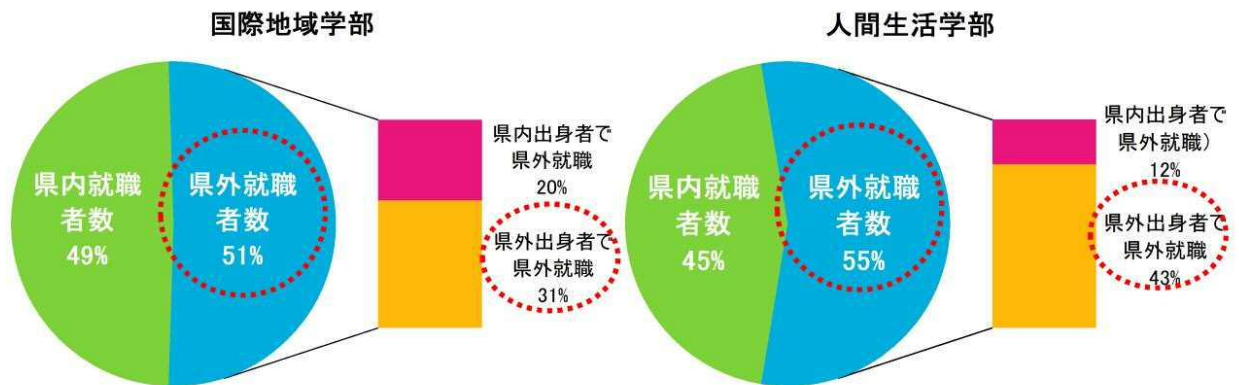
【令和元年度「地域社会論」東区自治協議会とのワークショップテーマ】

あなたが勤めたい会社はどんなところ？  
 どういうものがあれば新潟に残りたいか

## 新潟市における人材不足の現状・課題

- 県内隣接市からの転入が多くみられるが、東京圏への転出超過が顕著
- 新潟県立大学においても、半数以上が県外に就職

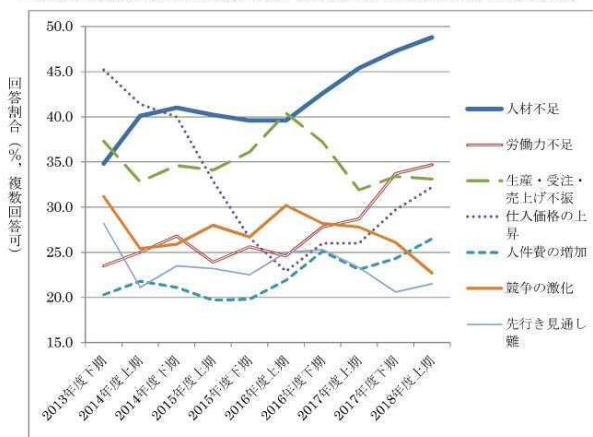
新潟県立大学の就職先（平成29年度）



出典：新潟県立大学よりデータ提供 新潟市グラフ作成

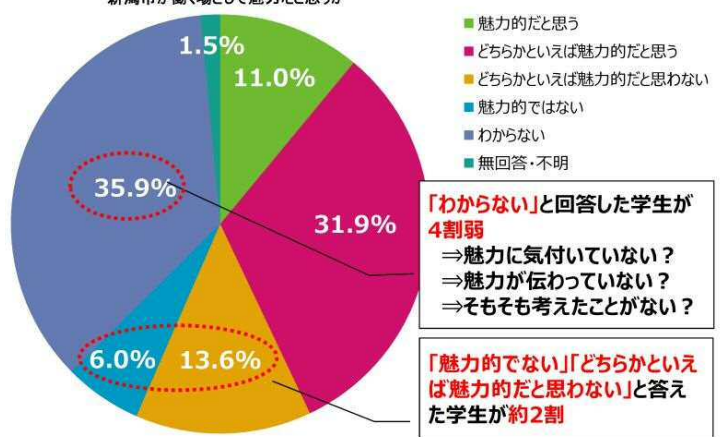
- 市内事業所の経営上の問題では、「人材不足」、「労働力不足」が上位となっている
- 働く場としての魅力が「わからない」が4割弱、魅力的だと思わないが約2割

□新潟市景況調査「経営上の問題」において過去5年間で上位5位に入った項目の推移



資料 新潟市「景況調査」より産業政策課作成

新潟市が働く場として魅力だと思うか



出典：新潟市まち・ひと・しごと創生に関するアンケート調査（平成27年）

## ワークショップの検討内容

皆さんが働く場所として魅力を感じるのは、こういったところでしょうか。  
 働く場所として新潟市が選ばれるためには、こういったものがあれば良いでしょうか。